

高松市生涯学習センター 生涯学習カレッジ（個人生活に役立つ講座）

## 「もっとアートを身近に 現代美術のたのしみ方」

を開催しました

平成23年2月18日から3月18日まで、高松市美術館学芸員の毛利直子さんを講師にお迎えし、開催しました。

「現代美術」というと、どことなく難解なイメージを持っている方も多いのではないのでしょうか。今回の講座は、タイトル通り、より身近なものとして親しんでいただくことを目的に開催されました。

1回目は美術作品を「よく見る」トレーニング。4～5人のグループになって、無作為に選んだ作品のカード2枚から共通点を見つけ、他の人に説明し、納得させます。色は？描かれているものは？・・・など、関心がなかったものをよく見る訓練になるということです。同じカードを見ても、人それぞれの感性が違い、様々な意見が出てきました。



2回目は、今までに自分が経験した「目からウロコが落ちた！」という話をグループで語りました。そして、新聞紙の中から「の」の字を探す作業をしたり、美術作品に落書きを加えたり、美術を遊びの題材にしてみるというウォーミングアップをしました。この後、毛利さんが撮影した美術館の展示の様子を一緒に見ていきましたが、より柔軟な感性で作品を見ることができるようになったのではないのでしょうか。



3回目は、自分が学芸員になったつもりで、作品の展示企画にチャレンジしました。紙で作った箱を展示室に見立て、作品のカードを展示します。どういうテーマで企画し、どういうストーリーで並べていくか、見る人にどのように訴えかけるか、受講生の皆さんは頭をひねりながらも、それぞれ個性的な展示を考え出しました。

全3回を通して、作品をよく「見る」という貴重な体験をしていただきました。これからの美術鑑賞の楽しみが、より深まったことと思います。